

## 小牧市特別職報酬等審議会（第2回）会議録〔要点筆記〕

- 1 開催日時 平成24年3月22日（木）  
午後7時00分～午後8時00分
- 2 開催場所 小牧市役所 本庁舎 4階 第4会議室
- 3 出席者 （会長）稲垣 猛  
（代理者）栗木 鋭三  
（委員）伊木 祥子  
（委員）伊藤 大悟  
（委員）稲垣 孝子  
（委員）長田 宏  
（委員）加藤 隆久  
（委員）平手 満治  
（委員）広瀬 和彦  
（委員）山田 久恒
- 4 傍聴者 1名
- 5 議題 諮問事項の審議について
- 6 会議資料 資料1 財政力指数について  
資料2 年収ベースの比較について  
資料3 答申の方向性について

### 7 議事内容

（人事課長補佐）

それでは、ただいまより小牧市特別職報酬等審議会を開催します。

本日は、お忙しいところ小牧市特別職報酬等審議会にご参会いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の出席状況ですが、委員全員がご出席いただいております。また、傍聴者につきましては、1名となっております。

本日は前回2月27日に引き続きまして第2回目の開催となりますので、闊達なご議論をお願いしたいと思えます。

それでは、今後の議事進行につきまして、稲垣会長よりお願いします。  
(稲垣会長)

前回に引き続き年度末の、しかも夜間開催ということで、ご多忙の時期にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

前回、事務局から出されました資料をもとに、小牧市の特別職の報酬のあり方について委員の皆様からそれぞれ意見を伺いました。本日は、その取りまとめに向けて委員の皆様にご協力をいただかなければなりませんのでよろしくをお願いします。

まずは資料について事務局から説明をお願いします。

(人事課長)

資料1・2について説明(省略)

(稲垣会長)

ありがとうございます。

前回最後に、取りまとめに向けた方向性について事務局側でまとめるようお願いします。その関係が資料3になると思えますので、事務局から説明をお願いします。

(人事課長)

資料3について説明(省略)

(稲垣会長)

前回の会議では、資料3にまとめられているような意見が出ていました。本日、今一度委員の皆様意見をいただいて取りまとめたいと思えますのでよろしく願います。前回は引上げという意見はなかったので、据え置きか引下げか、ということになると思えます。

(A委員)

据え置きでよいと思えます。他市の状況を見ながら、小牧市が突出しないようにすること、また市の財政状況を考慮しながら決めればよいと思えます。

(B委員)

今日出された財政力指数に関する資料を見ても、小牧市はまだ大丈夫だと感じました。また、尾張地区の報酬審の状況も据え置きが多い等の状況もあわせれば据え置きでよいと思えます。

(C 委員)

前は市民感情から引き下げる方向の意見を出しました。しかし、近隣市の状況や財政力を考えれば、また、引下げといっても少額の引下げではかえって市民感情とは異なるのではないかと思いますので、据え置きとしたいと思います。

(D 委員)

前回は申し上げましたとおり特別職は激務でありますし、また小牧市の財政状況もよいということ、さらには特例減額も行っているということですので、据え置きでよいと思います。

(E 委員)

特例減額については、それぞれの理由があって行っているのですが、今回の議論につなげてよいのか、という点がまずあります。また、財政の面から見ても、月額 2,000 円程度の減額というのは影響度はほとんどないものです。民間では春闘の結果も出揃ってきている中であり、この審議会での答申をどうするのかは、小牧の行政の姿勢をどうするのかということになります。しかしながら、民間の感覚からするとこの時期に据え置きというのは違和感があります。月額 2,000 円の減額、年額では 24,000 円になりますが、これをどう見るか、民間では一時金が 10 万円単位で下がっている中で、市長がどう考えられるかだと思います。

(稲垣会長)

市長は退職金半減をしています。これについてはどう思われますか。

(E 委員)

退職金半減の特例はそれぞれの理由があってやっているものですので、これを考慮してしまうと、この審議会の意味がなくなってしまうと思います。

(F 委員)

前回発言しましたとおり、据え置きでよいと思います。

(G 委員)

方向性としては引き下げるべきだと思っています。先週春闘の回答が出揃ってきたところです。トヨタ等の大手は別として中小企業は先が見えず厳しい状況です。小牧・春日井地区では定期昇給すら確保できず、一時金も下がってくるような状況にあります。

小牧市の財政力は高いということですが、平成 20 年度以降は下がっ

てきています。また、昨年市長が代わられたという状況でもあり、今引下げなければいつ下げるのか、ということだと思っています。

(稲垣会長)

引下げというご意見ですが、具体的な減額幅はどれくらいと思われていますか。

(G 委員)

隣の春日井市の状況等を参考にすれば 5,000 円程度の減額だと思っています。

(H 委員)

据え置きでよいと思います。最近のニュースでも世界経済情勢が上向き始めたり、国内でも大手企業は上昇傾向にありますし、貿易収支も若干改善しつつありますので。

(I 委員)

個人的には民間の感覚で考えれば、役所の報酬のあり方は流れが違うのではないかと思っています。しかしながら、特例減額についてとらえ方はいろいろありますが、減額されていることは事実ですので、据え置きでよいと思います。

(稲垣会長)

委員の皆様の意見をうかがいましたが、大部分は据え置きでよい、というご意見、そして一部は引き下げということで、その減額幅は 5,000 円程度というご意見でした。答申の取りまとめとしては据え置きで、ただし審議会で引き下げの意見もあったという経過を答申書に含めることは可能でしょうか。

(人事課長)

答申書の中に審議会の経過を記述することは可能です。作業した上で案文をお示ししますので、10分程度時間をいただきたいと思います。

(稲垣会長)

それでは、事務局が答申案を作成してから審議を進めたいと思いますので、ここで一時休憩とさせていただきます。

【暫時休憩】

【答申案を配布後、再開】

(稲垣会長)

それでは事務局より答申案について説明をお願いします。

(人事課長)

答申案について説明(省略)

(稲垣会長)

ありがとうございました。据え置きという方向での答申ですが、この案についてご意見があればうかがいたと思います。

(E委員)

最終的には審議会として意見を取りまとめる必要もありますし、多数決で据え置きということで決めてもらって結構です。

(G委員)

私も審議会の皆さんの意見に沿ったこの案でよいです。

(H委員)

私もこの案でよいです。ただ、後段にある「市議会議員も議会改革の取組みに努力」とありますが、市民がどの程度理解しているのかは疑問です。ここにある議会改革とは議員定数の削減も含むのですか。

(人事課長)

議会改革につきましては、市政報告会の開催や、インターネット中継等の様々な取組みを含んでいるところです。

(H委員)

議会改革の議員定数削減の議論は進んでいるのですか。

(市長公室長)

現在市議会にて議会改革に関する特別委員会を組織して改革に向けて動き出したところです。これから進められていくと思います。

(稲垣会長)

それでは答申案についてはこの内容でよろしいですか。

修正意見等もないようですので、この内容で3月中に会長と会長職務代理者とで市長に答申をしたいと思います。2回の議論ではありましたが、委員の皆様ご協力いただきましてありがとうございました。

(人事課長)

委員の皆様におかれましては、年度末の夜間に前回に引き続き2回にわたりまして、特別職の報酬につきまして熱心にご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

稲垣会長からもお話いただきましたように、本日の答申書案をもって後日市長への答申を行っていただきます。委員の皆様へは、市長への答申書の写しを送付させていただきますのでご承知置き願います。

(人事課長補佐)

以上をもちまして、小牧市特別職報酬等審議会を閉会させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。